



画：長田 清（登別美術協会）

デジタル分館
QRコード



令和6年(2024年)

11月号

第522号(第43巻第8号)

目次

- P1 デジタル分館・図書館施設のご案内
- P2 行事のお知らせ・図書館カレンダー
- P3~P4 イベントのお知らせと報告
- P5 職員コラム
- P6 アーニス分館だより・おすすめ本
- P7~P12 新着図書案内

編集・発行 登別市立図書館

図書館WEBサイトQRコード



〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

電話(0143)85-4324 FAX(0143)85-4325

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

デジタル分館のご案内

デジタル分館はインターネットを通じ、様々なデバイス上で24時間いつでも好きな時に利用が出来る電子図書館です。

登別市発行の利用者カードをお持ちか、室蘭・伊達市発行の利用者カードをお持ちで登別市内に居住の方はどなたでもご利用いただけます。

デジタル分館ホームページトップで利用者ID(利用者カードの番号・ハイフンなし)とパスワード(生年月日・西暦から入れて8桁)を入力し、ログインしてご利用ください。

詳しい利用方法はホームページをご覧ください。ただか職員までお尋ねください。

◎デジタル分館おすすめ本◎

「一度は読んでおきたい現代の名短篇」
湯川 豊／編 小学館／発行

松本清張、司馬遼太郎、向田邦子、中上健次、村上春樹、よしもとばなな、三浦しをん…。

小説読みの達人・湯川豊が「読む愉しさを満喫できること」という視点で選んだ、人気作家44人の傑作短篇小説の魅力解説するブックガイド。



図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別港町1-4-9	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	平日 83-1131 土日祝 50-6602	85-4324
休館日	月曜・祝日・年末年始 毎月最終金曜	木曜・年末年始 毎月最終金曜	年末年始のみ		日曜・月曜 祝日・年末年始
開館時間	10:00~18:00	10:00~20:00	9:00~17:30 (昼休みあり)	9:00~17:30	巡回表のとおり

映画会

※会場は図書館3階会議室です。入場無料、申込は不要です。

11/9(土)15時
こども映画会

「だいじょうぶ だいじょうぶ」ほか (30分)

◎いとうひろし原作絵本のアニメ化作品。
毎日散歩を楽しんでいた小さなぼくですが、不安な気持ちになることも。そんな時、おじいちゃんがおまじないの言葉で助けてくれます。心にしみるお話をお楽しみください。

※来月は「チップとデール」リスのいたずら合戦を上映します。



11/10(日)13時30分
アフタヌーンシアター

「新しい風」(邦画120分)

◎北の原野の開拓を目的に依田勉三率いる「晩成社」は十勝へと渡る。彼らを待ち受けてたものは。。。

※来月は「プライドinブルー」を上映します。



おはなし会

※会場は①アーニス分館、②③図書館1階えほんのへやです。
入場無料、申込は不要です。

①デジタル分館おはなし会(電子絵本や電子紙芝居の読み聞かせ)

日時 11月 2日(土) 14時より ※毎月第1土曜日

②えほんのへやのおはなしかい(絵本や紙芝居の読み聞かせ)

日時 11月 9日(土) 14時より ※毎月第2土曜日

③おはなしぼけっと(絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアター)

日時 11月16日(土) 11時より

← 今月は第3土曜日です!



図書館カレンダー 令和6年(2024年) 11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 デジタルお話し会
3 文化の日 本館特別開館 講演会	4 本館休館日	5	6	7 分館休館日	8	9 ライブラリースタート おはなし会 こども映画会
10 アフタヌーン シアター	11 本館休館日	12	13 絵本を楽しむ会	14 ブックスタート 分館休館日	15	16 おはなしぼけっと
17	18 本館休館日	19	20	21 分館休館日	22	23 勤労感謝の日 本館休館日
24	25 本館休館日	26	27	28 分館休館日	29 図書整理日 本館休館日 分館休館日	30 分館工作

登別市立図書館文化講演事業 「獲る 食べる 生きる」

現役の狩猟家である黒田氏を迎え、獲ること・食べることを通じてわかる“いのち”について講演いただきます。

日時 11月3日(日) 13時30分～15時(予定)

会場 本館3階会議室

申込 不要*当日直接会場までお越しください。



講師 黒田 未来雄氏

苫小牧市在住。TVディレクターとして自然番組制作に携わる。北海道転勤時に狩猟を始め早期退職。現在は講演会等を通し狩猟生活の魅力を伝える。

●関連展示「獲る食べる生きる 狩猟に関する本」

本館1階ロビー 10月19日(土)～11月3日(日)

クリスマス工作 「とびだす！ポップアップ クリスマスカードをつくろう」

色画用紙で、開くとサンタクロースが飛び出すクリスマスカードを作ります。

日時 12月7日(土)

10時30分～12時

場所 本館3階会議室

対象 4歳児～小学生

定員 8組(親子またはきょうだい2人で1組)

申込期間 11月21日(木)

～12月5日(木)

*定員になり次第受付終了

申込方法 電話または

本館1階児童室窓口まで



絵本を楽しむ会主催 「大人も楽しめる絵本と紙芝居」

大人も“絵本を楽しむ会”として今回が210回目の活動です。大人として経験を重ねたからこそ、より感動や共感を得られるものもある絵本。大人のためのおはなし会をお楽しみください。

日時 11月13日(水)13時30分～

場所 本館1階児童室

申込 不要 *当日直接会場までお越しください

内容は
当日のおたのしみです！

第2回「野辺歩きの拾いもの」展を開催しました

市内在住の街道重昭さんがニナルカ(刈田神社から千歳町へ続く高台)を野辺歩きした際に、出会った沢山の「拾いもの」たちを文章と写真で紹介しました。会期中10日ごとに展示の入れ替えを行い、前回と今回の展示内容をまとめたファイルをじっくりとご覧になる方も多くいらっしゃいました。



幼稚園保育所・年長児の読書感想画展を開催しました

9月15日(日)～10月1日(火)にかけて市内幼稚園保育所年長児による読書感想画展を本館・鷺別コミュニティセンターの2会場で行いました。様々な画材で描かれた感想画に、来館された多くの方が立ち止まって眺めていました。



ロビー展示「下水道と環境」を開催しました

毎年9月10日は下水道に対する理解・関心を深める「下水道の日」です。10月3日(木)～17日(木)にかけて本館1階ロビーにて登別市都市整備部水道室水道グループ主催による展示「下水道と環境」を行い、水の循環活用に関するポスターや、下水道クイズと共に水・水道に関する本を合わせて展示を行いました。



第一回図書館整備検討委員会を開催しました

登別市立図書館の今後について検討するため、登別市立図書館協議会委員、各関係団体の代表の方、また、今回一般公募いたしました7名の方、総勢17名の方に登別市立図書館整備検討委員会をお引き受けいただき、10月4日(金)に第1回登別市立図書館整備検討委員会を登別市民会館にて開催しました。第1回目の主な内容としましては、現在の図書館についての状況や登別市の財政状況について市から委員の皆さまへご説明を行い、次回以降、図書館のハード面について具体的に話し合いを行っていく予定となっています。

1階ロビー展示 「わたしのおすすめ本 職員のおすすめ本」

図書館通信に掲載している職員による本案内「わたしのおすすめ本」で、今まで紹介した本をまとめて展示します。小説や実用書、絵本など様々な本を展示します。



展示期間 11月7日(木)～11月28日(木)

読書(と運動)の秋

身体を動かすタイプの新しい趣味を始めようかとスマホでぽちぽちと本を探していたら、デジタル分館の中から「ランニングビギナーズ・ガイド」(柘出版社／発行)を見つけました。体育の成績も悪く、走ることも全く苦手だった私が、今ではハーフマラソンを目標とするまで走ることに本格的にのめりこむようになりました。

この本はこのタイトルが示す通り、ランニングを始めたいと考えている初心者に向けて基本からしっかりと解説してくれるので、身構えずに挑戦することができます。まず、ランニングをするにあたって何から始めたら良いのか分からない、という方も多いのではないのでしょうか。特に未経験者にとってはシューズやウエアの選び方、どんなペースで走り始めるべきかなど、疑問点が沢山あるかと思います。この「ランニングビギナーズ・ガイド」はそういった疑問に答えるだけでなく、ウォーキングからジョギングを始める方法まで細かく説明してくれているのでランニングに対する不安を取り除きながら、スタートを切ることができます。

他にも、シェイプアップを目的にしたランニングからフルマラソンを目指す人までそれぞれの目標に応じたトレーニングプランが詳細に記されていることに加え、走った後のストレッチや入浴法、そして食事のポイントまでランナーにとって必要な身体のケアが満載です。読んですぐ実践できる内容が盛りだくさんで、私も正しい知識を身に着けながら無理せずランニングを継続することができています。

現在私は、札幌マラソンに挑戦することを目標にトレーニングをしています。この本を頼りにしながらランニングを続け、無理なく楽しく走ることができるよう日々調整しながら生活することも身につけてきました。初めてのハーフマラソン大会ということで少し緊張もありますが、これまで積み重ねてきたトレーニングを信じて当日に挑みたいとおもっています。

最後になりますが、何か身体を動かす新しい趣味を始めたいと思っている方にランニングはおすすめです。特に費用が掛かるわけでもなく、少しの準備とやる気さえあればどこでもはじめられ身体も心も健やかになります。読書の秋…の合間に軽くランニングもおすすめです。



「ランニングビギナーズ・ガイド」
RUNNINGstyle／編
柘出版社／発行

11月

アーニス分館だより



毎月第一土曜日です！

デジタル分館おはなし会

日時 11月2日(土)14時～(30分ほど)

場所 アーニス分館 閲覧室 今月は『てぶくろをかいに』など。

大きなスクリーンでお楽しみください。

イベントのお知らせ！

12がつの

クリスマスカレンダーをつくろう！

日時 11月30日(土)

1回目/11時～12時 2回目 14時～15時

場所 アーニス2階 会議室

対象 幼児以上(幼児は保護者同伴でお願いします)

定員 各回5名(一家庭1個 先着順)

申込受付 11月8日(金)～

分館カウンターへ、または電話(81-2182)で



私のおすすめ本

一般書担当 みどりのくるま

「なぜ働いていると本が読めなくなるのか」

三宅 香帆／著 集英社／発行



本を沢山読んだり買ったりするために働き始めたのに、気が付けば全然本が読めない日が何年も続いていた…。なぜ働いていると本が読めなくなるのかを疑問に思った著者が、過去のベストセラーなど豊富な本の引用から日本人の「仕事と読書」のあり方を解き明かす一冊。

大正時代の製糸工場労働者の就業時間は1日12時間。昭和戦後のサラリーマンは1日8時間労働になりますが、週6勤務で毎日残業2時間は当たり前。働き方改革が進み1日の労働時間は原則8時間・週の勤務時間も、残業も少なくなり週休2日も当たり前と労働時間が短くなったはずの現代。時間は過去と比べむしろ出来たはずなのになぜ読書はできないのでしょうか。

書名から読書の本なのかなとも思えますが、読書に限らず全ての“好きなこと(趣味)なのに出来なくなるのはなぜか”について書かれており、最終章

には著者が実践する働きながら本を読むコツも掲載されています。

小説は読めないけれど自己啓発本や片付けに関する本は読める。映画は見られないけれどテレビで2時間のバラエティ番組は見られる。テレビゲームは出来ないけれどスマホアプリのパズルゲームは毎日やっている…。読書に関わらずこんなことが思い当たる人にもおすすめします。

今月のおすすめ本～新刊図書案内から～

「さっぽろ探見

ちょっとディープなまち歩き」

杉浦 正人／著

北海道新聞社／発行

札幌10区、20地域の歩くコースと見どころポイントを「探」して「見」つけるまち歩きガイド。札幌の街を歩き、風景や建物などをいつくしみ愛でながら歴史をたどってみませんか？各コースの所要時間、距離も掲載。



「赫夜」

澤田 瞳子／著

光文社／発行

己の境遇を嘆いた日々を送っていた駿河国司の家人・鷹取は、富士ノ御山から黒煙が噴き上がるのを目撃し、注ぐ焼灰により意識を失う。平安時代、富士山延暦噴火。大災害に遭った人々の苦悩と奮闘の日々を描く。



「深海問答

海に潜って考えた地球のこと」

川口 慎介／著

エクスナレッジ／発行

気候変動、資源の枯渇、生態系の異変。地球はどうなってしまうのか。人類はどうすべきか。考えるためのヒントは海にある。海洋研究開発機構の主任研究員が、「地球とは何か？」について探究。



「フィクションのなかの警察

目には見えない「組織」とそこで働く「個人」

熊木 淳／著

笠間書院／発行

日本の警察小説において、警察の描かれ方はどう変化してきたのか？「震度0」「64」「陰の季節」「死亡推定時刻」「外事警察」などを題材にドラマ・映画で映像化されてきた警察小説の歴史を紐解く。



「100日まいにちブルーベリー」

わかさ生活／著

アスコム／発行

ブルーベリーを使った、作りおき調味料、爽やかな朝ごはん、ワンプレートの昼ごはん、ボリューム満点晩ごはん、ヘルシーおつまみ、至福のおやつレシピを紹介する。

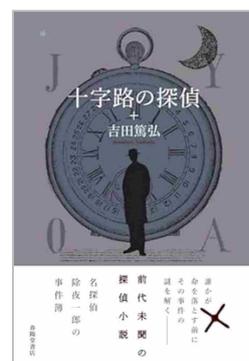


「十字路の探偵」

吉田 篤弘／著

春陽堂書店／発行

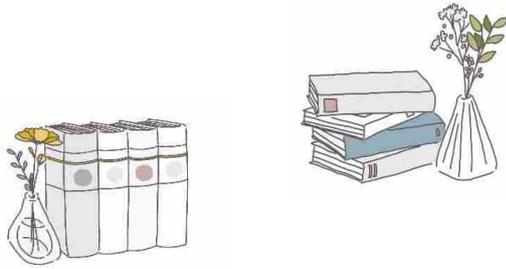
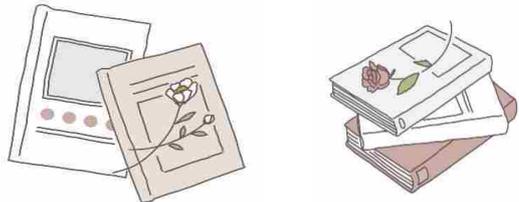
<希望の塔>が聳えるいにしへの街を舞台に、今宵、十字路の名探偵・除夜一郎の冒険が開幕する。誰かが命を落とす前に事件の謎を解く、前代未聞の探偵小説。



新 着 図 書 案 内 令和6年11月 No.1

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷲:鷲別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
0 総記				未来への遺言	前田 浩智ほか
	発禁本の世界 城市郎コレクション	平凡社		比翼の象徴 上 明仁・美智子伝	井上 亮
	<弱いロボット>から考える 人・社会・生きること	岡田 美智男		われ牢前切腹を賜る	後藤 乾一
●	来たよ！なつかしい一冊	池澤 夏樹		平安時代の男の日記	倉本 一宏
				ウクライナ全史 ゲート・オブ・ヨーロッパ 上・下	セルヒー・プロヒー
				尹致昊日記 6 1903-1906年	尹 致昊
				● 戦場の人事係	七尾 和晃
				● 逆説の日本史 28 大正混迷編	井沢 元彦
				吾妻鏡 鎌倉幕府「正史」の虚実	藪本 勝治
1 哲学・宗教				● 脱露 シベリア民間人抑留、凍土からの帰	石村 博子
	脳が一生忘れないインプット術	星 友啓		ポーランド・バルト史 上・下	伊東 孝之 井内 敏夫
車	雨の日の心理学	東畑 開人		読めない文字に挑んだ人々 ヒエログリフ解読1600年史	宮川 創
	生きるとは頼ること	戸谷 洋志		藤原正彦の代表的日本人	藤原 正彦
車	● やりたいことの見つけかた 89歳、気ままに独学	若宮 正子		ダーウィン 「進化論の父」の大いなる遺産	鈴木 紀之
	「品のいい人」が気をつけていること	山崎 武也			
	記憶の深層	高橋 雅延			
車	自分らしい幸せを見つける！手相の見かた	暮れの酉			
2 歴史・地理			3 政治・経済・社会・教育		
	きょうだいの日本史	『日本歴史』集 委員会		歳をとった親とうまく話せる言いか えノート	萩原 礼紀
	0から学ぶ「日本史」講義 近・現代篇	出口 治明		ホームレスでいること	いちむら みさこ
	朝鮮民衆の社会史	趙 景達		介護格差	結城 康博
	満洲難民感染都市	矢島 良彰	ア	ろう通訳ってなに？	木村 晴美
	中国を見破る	楊 海英	車	ラクして備えるながら防災	CAMMOC
	一冊でわかるベトナム史	岡田 雅志	鷲	はじめての『経理』基本がわかる！	甲田 拓也監修
●	「昭和天皇拝謁記」を読む	古川 隆久ほか		この1冊でスラスラ！労働法大全	岡 久
	土方歳三、その実像	伊東 成郎	●	北朝鮮に出勤します 開城工業団地で働いた一年間	キム ミンジュ
	西郷従道 維新革命を追求した最強の「弟」	小川原 正道		ハマスの実像	川上 泰徳
●	感動する地図帖	イアン・ライト		袴田事件 神になるしかなかった男の58年	青柳 雄介
	「スイスの最も美しい村」全踏破の旅	吉村 和敏	ア	北朝鮮は今も日本人を拉致していま すか 決定版	中村 将
ア	● さっぼろ探見 ちょっとディープなまち歩き	杉浦 正人	ア	● 介護ヘルパーごたごた日記	佐東 しお
			ア	見て、読んで楽しむ世界の料理365日	青木 ゆり子

新 着 図 書 案 内 令和6年11月 No.2

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
車	13歳からの行動経済学 推し活中学生のお小遣い奮闘記	太宰 北斗監修	4 自然科学・医学		
鷺●	努力は仕組み化できる	山根 承子		透明マントのつくり方	グレゴリー・J.グバー
鷺●	ルポ超高級老人ホーム	甚野 博則	●	深海問答 海に潜って考えた地球のこと	川口 慎介
	自民党幹事長 歴史に見る権力と人間力	星 浩		M9地震に備えよ 南海トラフ・九州・北海道	鎌田 浩毅
	ホンボン 木原事件と俺の捜査秘録	佐藤 誠	車	腸トラブルの治し方	中島 淳監修
	公安調査庁秘録	手嶋 龍一 瀬下 政行		公式は覚えなれないいけないの？ 数学が嫌いになる前に	矢崎 成俊
	シニアの命と財産を守る実家の防犯 110のコツ	梅本 正行監修		人類はどこで間違えたのか	中村 桂子
	帰る家がない少年院の少年たち	中村 すえこ		オオクワガタに人生を懸けた男たち	野澤 亘伸
	今すぐ逃げて！人ごとではない自然 災害	金藤 純子		水と清潔 風呂・トイレ・水道の比較文 化史	福田 真人
	ひっくり返す人類学	奥野 克巳	ア	オトナ女子の不調と疲れに効く眠にいい こと100	三橋 美穂
	二〇三高地 旅順攻囲戦と乃木希典の決断	長南 政義		はじめてのガロア	金 重明
ア	盲導犬と地球を歩く	内田 素子		誰も知らない素数のふしぎ	小山 信也
車	ヘルシンキ 生活の練習はつづく	朴 沙羅		DNAとはなんだろう	武村 政春
鷺	最新子連れ防災BOOK	富川 万美	車	本物の医学への招待	北原 大翔
	検証政治とカネ	上脇 博之	●	野生生物は「やさしさ」だけで守れるか？	朝日新聞取材 チーム
	表現の自由「政治的中立性」を問う	市川 正人		虫たちの生き方事典	小松 貴
	戦争ミュージアム	梯 久美子		裏山の奇人 カラー版	
	空き家の法律と税金と管理がわかる本	コンデックス 情報研究所	●	うつを生きる 精神科医と患者の対話	内田 舞 浜田 宏一
	あるある！田舎相続	澤井 修司		イラストでわかる高齢者のからだ図鑑	kei著
	弱い円の正体 仮面の黒字国・日本	唐鎌 大輔		ルポ「ふつう」という檻 発達障害から見える日本の実像	信濃毎日新聞社
	10年後に後悔しない住まいの新常識 101	長井 純子	ア	目の老化を自分で防ぐ！	平松 類
	老後ひとり難民	沢村 香苗	●	ザトウムシ ところ変われば姿が変わる森の隠遁者	鶴崎 展巨
	ニッポン獅子舞紀行	稲村 行真	●	標本画家、虫を描く	川島 逸郎
ア	ケアマネジャーになるには 改訂版	宇田川 廣美	鷺	うちの子、ゲームして動画ばかり見て ますけど大丈夫ですか！？	アベ ナオミ
ア	哲学部・宗教学部	浅野 恵子	5 技術・工業・家事		
車●	92歳、毎日楽しく老いてます	樋口 恵子	鷺●	リュウジのまだバズってないレシピ	リュウジ
	裁判員17人の声	牧野 茂		ネットオーディオのすすめ	山之内 正
●	釜石のいちばん長い日 元市長の震災記	野田 武則		いま訪ねるべき日本の鉱山跡30	五十公野 裕也
	図説怪異百物語 江戸東京篇	湯本 豪一		90日で手に入れる「余白」のある暮らしの つくり方	みしえる
ア	女性フリーランスの働き方	小川 真理子	ア	地球のためになる365のこと	ジョージナ・ウィル ソン=パウエル
	ユーキャンのはじめて手話会話	米内山 明宏監修 小松 加代監修	ア	フェルトで作る、おままごとの布絵本	アップルミンツ
	移民・難民たちの新世界地図	村山 祐介	ア	からだ整えリセットごはん	新谷 友里江
	上司いじめ 企業法務弁護士が教える 上司のためのハラスメント対応法	國安 耕太	鷺	リピート家族ごはん	神社 あゆ

新 着 図 書 案 内 令和6年11月 No.3

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷺:鷺別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
5 技術・工業・家事			7 芸術・スポーツ		
車	● ぼんご女将のしあわせおにぎり帖	右近 由美子	車	60歳からはじめる趣味の自転車	辰巳出版
ア	スーパーの食材で究極の家庭料理	東山 広樹	●	開講！木彫り熊概論	北海道大学大学院文学院文化多様性論講座博物館学研究室ほか
ア	まるごと海藻レシピBOOK	井澤 由美子		美しいビーズバッグの世界	似内 恵子
	決断 パナソニックとソニー、勝負の分かれ目	藤本 秀文	●	監督の財産	栗山 英樹
	スタイルを見つける	原 由美子		サイクルライフ	暮らしの図鑑集部
ア	シンプルに調理して無駄なく最後までおいしく食べる野菜のおかず	大庭 英子		紫禁城の至宝を救え	アダム・ブルックス
車	アレンジ自在のパジャマ大全	香田 あおい	●	名画に見る「悪」の系譜	中野 京子
車	JA全農広報部さんと考えた毎おいしい野菜の作りおき	JA全農広報部 監修		クラシック音楽の大疑問	岡田 暁生
ア	お気らくお手がる着物リメイク	EMI工房エミ	●	あの鐘を鳴らしたのはわたし	秋山 気清
ア	● あつメシの簡単！うまい！働くパパ飯	あつメシ	鷺	nanahoshiの大人かわいいおりがみ雑貨	たかはし なな
ア	● 100日まいにちブルーベリー	わかさ生活		小さな印刷屋さん宇田川新聞の木版画教室	宇田川 新聞
ア	hikaru noguchiはじめての靴下ダーニング	野口 光		ランナーは太陽をわかちあう	サラ・ギアハート
鷺	願いを込めて作りたいフェルトのお守り	ブティック社	ア	もっと表現が広がる！四季のはがき絵上達のコツ 新版	「四季のはがき絵」集案
車	指先が出せるかぎ針みのミトン	アップルミンツ	登	からくり玩具世界一周	山口 照二
車	● ハツ江おばあちゃんの電子レンジでラクラクごはん	高木 ハツ江	車	この平坦な道を僕はまっすぐ歩けない	岩井 勇気
	● 現代調理道具論	稲田 俊輔	車	定年ランニング	中野 ジェームズ修一
ア	ラクして限界飯	だれウマ	●	みたてのくみたて	田中 達也
車	スパイス&ハーブの教科書	水野 仁輔		高校野球と人権	中村 計 松坂 典洋
登	● 軽やかなおすし	榎本 美沙	●	プロ野球12球団ファンクラブ全部に20年間入会してみた！	長谷川 晶一
鷺	おかえり！パスタ	鳥羽 周作		ファイターズ50年史 完全保存版 1974-2024	ベースボール・マガジン社
	地方工務店の逆襲	池田 雄一	●	メトロポリタン美術館と警備員の私	パトリック・プリングリー
	ととのうおかゆ365日	鈴木 かゆ		江戸十八大浮世絵師 ビジュアル版	深光 富士男
6 産業・商業				エンジェルはそばにいる 奇蹟のピアニスト フジコ・ヘミングのことば	フジコ・ヘミング
登	岩合光昭のご当地ねこ 岩合光昭の世界ネコ歩き	岩合 光昭		校歌斉唱！ 日本人が育んだ学校文化の謎	渡辺 裕
	● ごみ屋敷ワンダーランド	柴田 賢佑	車	● 丹波哲郎見事な生涯	野村 進
車	● 花森安治の広告デザイン	花森 安治	登	大人のやさしい水泳教室	森 哲也
	私はヤギになりたい ヤギ飼い十二カ月	内澤 句子			
ア	日本ご当地チェーン大全	辰巳出版	8 言語		
	営業の神様 ヤマナシさんが教えてくれたこと	早崎 郁之		学力は「ごめんなさい」にあらわれる	岸 圭介
	● 北海道昭和の鉄道風景	坂東 忠明		オランダ語の基礎 新版	クレインズ桂子ほか
車	野菜づくり超入門 秋冬&春準備	藤田 智	鷺	つれづれ語学日記	こまき ときこ
ア	もういちど育てる庭図鑑	良原 リエ	車	おうち英語語りかけパターン75	バイリンガル ベイビー

新 着 図 書 案 内 令和6年11月 No.4

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷲:鷲別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
	913 日本の小説			臨床のスピカ	前川 ほまれ
	あこのころの僕は	小池 水音	車	死んだ石井の大群	金子 玲介
	● 共犯の畔	真保 裕一	鷲	狐花 葉不見冥府路行	京極 夏彦
鷲	多頭獣の話	上田 岳弘		病葉草紙	
鷲	彗星を追うヴァンパイア	河野 裕	車	● いつか月夜	寺地 はるな
車	● 海風	今野 敏	車	恋はいつも少し足りない	神田 滯
車	星が人を愛すことなかれ	斜線堂 有紀	車	父の残像	佐伯 秋穂
車	孤独への道は愛で敷き詰められている	西村 亨	鷲	お前の死因にとびきりの恐怖を	梨
鷲	● マザー	乃南 アサ	車	天王寺忠義(北近江合戦心得 4)	井原 忠政
車	少女マクベス	降田 天	車	● もどき友成(助太刀稼業 2)	佐伯 泰英
登	愛するということは	中江 有里	鷲	へっぼこ膝栗毛 1	稲葉 稔
	● まぼろしの女 蛇目の佐吉捕り物帖	織守 きょうや	登	蛍の光 長州藩士維新血風録	阿野 冠
	魔者	小林 由香	車	これが最後の仕事になる	小川 哲ほか
	名探偵の有害性	桜庭 一樹		ゆるし(朝日時代小説アンソロジー)	細谷 正充
	● 二人の誘拐者	翔田 寛		● 常夏荘物語(なでし子物語 4)	伊吹 有喜
	彼女は逃げ切れなかった	西澤 保彦		● 左太夫伝	佐々木 譲
	タブー・トラック	羽田 圭介		天使の跳躍	七月 隆文
	岩に牡丹	諸田 玲子		かごいっぱい詰り込んで	真下 みこと
鷲	ナゾトキ・ジパングHANABI	青柳 碧人		今宵も猫は交信中	水庭 れん
車	● 鉄のほころび(刑事花房京子)	香納 諒一		● 二月二十六日のサクリファイス	谷津 矢車
車	ちゃっけがいる移動図書館	高森 美由紀		猛獣ども	井上 荒野
鷲	● フェイク・マッスル	日野 瑛太郎		● 深淵のテレパス	上條 一輝
車	少女には向かない完全犯罪	方丈 貴恵		軒猿の娘	岩室 忍
車	● 天国映画館	清水 晴木	ア	霸王の船	
車	墮ちる 最恐の書き下ろしアンソロジー	小池 真理子ほか	ア	● 全員犯人、だけど被害者、しかも探偵	下村 敦史
車	潰える 最恐の書き下ろしアンソロジー	阿泉 来堂ほか		烏衣の華	白川 紺子
	嘘か真言か	五十嵐 律人	鷲	私の死体を探してください。	星月 渉
	灯	乾 ルカ	車	甘いものには棘がある	山本 巧次
	● 大転生時代	島田 雅彦	鷲	モノ	小野寺 史宜
	ぼくは化け物きみは怪物	白井 智之	車	紺碧の海	梶 よう子
	雷と走る	千早 茜	車	法廷占拠 爆弾 2	呉 勝浩
	大きな玉ねぎの下で	中村 航	鷲	十字路の探偵	吉田 篤弘
	一場の夢と消え	松井 今朝子	車	檜垣澤家の炎上	永嶋 恵美

図書案内 令和6年11月 No.5

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

【●:おすすめ本】 【所蔵場所 空欄:本館、車:移動図書館車、ア:アーニス分館、鷲:鷲別配本所、登:登別配本所】

所蔵	書名	著者	所蔵	書名	著者
913 日本の小説			の他の文学		
車	復讐の泥沼	くわがき あゆ	車 ●	シルバー川柳 14	全国有料老人ホーム協会
	グレイスは死んだのか	赤松 りかこ	車	つい昨日のできごと 父の昭和のスケッチブック	小手鞠 るい
	● 虚史のリズム	奥泉 光		こんにちは！ひとり暮らし	みつはし ちかこ
	● 常盤団地の魔人	佐藤 厚志		ノラや 愛猫随筆集	内田 百間
	● 地面師たち ファイナル・バツツ	新庄 耕		14歳のためのシェイクスピア	木村 龍之介
	鷹の飛翔	堂場 瞬一		コロラド・キッド 他二篇	スティーヴン・キング
	銀河の図書室	名取 佐和子	車 ●	こころは今日も旅をする	五木 寛之
	月面にアームストロングの足跡は存在しない	穂波 了	登	ビールは泡ごとググッと飲め	早川 茉莉
	● バリ山行	松永 K三蔵	鷲	きょうだい児ドタバタサバイバル戦記	平岡 葵
	赤パンラプソディ	桐衣 朝子		ピアノを尋ねて	クオ チャンシェン
	根津や孝助一代記	江上 剛	車	その日暮らし	坂口 恭平
車	鹿鳴館の花は散らず	植松 三十里		沈黙の声 遠藤周作初期エッセイ	遠藤 周作
鷲	バラバラ屋敷の怪談	大島 清昭		● アウシュヴィッツの小さな既番	ヘンリー・オースター デクスター・フォード
鷲	その朝は、あっさり	谷川 直子		透明都市	リリア・アセンヌ
車	月花美人	滝沢 志郎	登	一気に読める源氏物語	岡本 梨奈
車 ●	籠の中のふたり	薬丸 岳		世界を変えた100の小説 上・下	コリン・ソルター
登	天国にたまねぎはない	久米 絵美里		● 新・富良野風話	倉本 聡
鷲	つがいをいきる	松井 久子		● 生きのびるヒント	鴻上 尚史
	今夜、喫茶マチカネで	増山 実	ア	ロンドンの片隅で、この世界のモヤモヤに 日々エスチョンしているよ。	クラーク志織
	息のかたち	いしい しんじ	鷲 ●	そんな言葉があることを忘れていた	せきしろ
	ムーンシャイン	円城 塔		わたしは、あなたとわたしの区別が つかない	藤田 壮眞
	武田の金、毛利の銀	垣根 涼介		将軍 3・4	ジェームズ・ クラバル
	あなたを待ついくつもの部屋	角田 光代	鷲	フィクションのなかの警察	熊木 淳
	骨と肉	櫛木 理宇	登	家から5分の旅館に泊まる	スズキ ナオ
	万、己むを得ず	幸田 真音	車	裏庭のまぼろし	石井 美保
	● 赫夜	澤田 瞳子	車	ソングライターの秘密	フランク・ グルーバー
	越境	砂川 文次		その国の奥で	J. M. クッツェー
	● たぶん私たち一生最強	小林 早代子	鷲	この世の道づれ	高橋 順子
	法王の牙 病院サスペンス集	黒岩 重吾	車 ●	犬ではないと言われた犬	向坂 くじら
ア	修羅の国の子供たち	田村 和夫			
車 ●	わたしの知る花	町田 そのこ			
車	下町サイキック	吉本 ばなな			